ＨＤＥＮ２Ｓ

ＳＤ　ＥＮＣＯＤＥＲ

取扱説明書

日本アンテナ®
NIPPON ANTENNA

製品安全についてのご注意

本製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に下記の事項をよくお読みください。

■ 本書では、対象となる機器や設備などについて、誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危　険

誤った取扱をしますと、人が死亡または重傷を負う可能性が切迫していることを示しています。

警　告

誤った取扱をしますと、人が死亡または重傷を負う可能性がある場合を示しています。

注　意

誤った取扱をしますと、人が傷害を負う可能性がある場合を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示の形状	意　　味
△	このような絵表示は、気をつけていただきたい**「注意喚起」**内容です。 左の三角形の中に具体的な注意事項を記入します。
⃠	このような絵表示は、してはいけない**「禁止」**内容です。 左の丸の中に具体的な禁止事項を記入します。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく**「強制」**内容です。 左の丸の中に具体的な強制事項を記入します。

⚠ 警　告

取扱説明書の定格に記載した電源電圧以外での使用はしないでください。
電源電圧の値は取扱説明書の他、本体の表示も確認してください。

電源のアースを必ず取ってください。電源プラグが保護接地付き 3 極の場合は、
保護接地コンタクトを持ったコンセントに挿入してください。
装置の背面等にアース端子がある場合、直径 1.6㎜ 以上の銅線で接地してください。

ブレーカーヒューズが作動したときは､電源スイッチを切ってから電源プラグを抜き、
原因を確認し、原因を取り除いてからブレーカーヒューズの電流表示部を押してくだ
さい。

製品のカバーを開けたり、分解をしないでください。
感電や怪我の原因となり、また性能維持の保証が出来なくなります。

⚠ 注　意

煙が出たり、異臭がした場合は直ちに電源プラグを抜き、
当社の営業担当にご連絡ください。

内部に水や金属類等の異物を入れないでください。
異物が入った場合は、直ちに電源プラグを抜き、当社の営業担当にご連絡ください。

落下等の強い衝撃を与えた場合は、電源プラグを抜き、
当社の営業担当にご連絡ください。

極度に高温、高湿になる場所、ほこりの多い場所での使用は避けてください。

通風口を塞がないでください。

機器に貼ってある警告ラベルがはがれた場合は、当社の営業担当にご連絡ください。

目　　次

1. 概　　要 1
2. 構　　造 1
3. 付 属 品 1
4. 定格・性能 1
4.1 映像アナログ入力 1
4.2 音声アナログ入力 1
4.3 映像符号化 1
4.4 音声符号化 2
4.5 TS 出力 2
4.6 監視、制御、警報インターフェイス 2
4.7 電源電圧 2
4.8 消費電力 2
4.9 使用 2
4.10 使用環境 2
4.11 制御入出力部 3
4.12 符号化 4
5. 各部の名称 5
5.1 正面パネルの説明 5
5.2 背面パネルの説明 6
6. 操作方法 7
6.1 表示器説明 7
6.2 WEB 説明 10
6.3 LED 表示説明 23
7. 保守部品交換手順 24
7.1 ヒューズ交換手順 24
8. 使用上の注意 24
9. 付録 24
9.1 設定/参照表示一覧 24

ＨＤＥＮ２Ｓ
ＳＤ　ＥＮＣＯＤＥＲ

1. 概　　要

本器は、SDTV 対応の MPEG2 リアルタイムエンコーダです。映像入力は NTSC（アナログ入力）に対応しており、音声出力は MPEG-1 Layer2 および MPEG-2 AAC 2ch に対応しており、館内共聴システム、ケーブルテレビの自主放送システム等に幅広く使用することができます。LAN ポートを装備しており、外部制御に対応しています。また、最新の MPEG-2 チップセットを使用しており、小型化、低消費電力化、低価格化を実現しています。本器は以下の特徴があります。

(1) 映像入力は NTSC 入力（アナログ）に対応。
(2) 音声入力はアナログ入力に対応。
(3) 映像符号化方式は、MP@ML。
(4) 音声符号化方式は、MPEG-2 AAC 2ch と MPEG-1 Audio Layer2 2ch に対応。
(5) TS レートは、2～15Mbps に対応。
(6) LAN ポートを装備し、外部制御に対応。
(7) 音声入力はモノラル／ステレオ／デュアルモノに対応しており、外部との連動に対応可能。
(8) 最新の MPEG-2 チップセットを使用することにより、小型化、低消費電力化、低価格化を実現。

2. 構　　造

外形寸法 ・・・・・・・・・・・・ 210(W)×44(H)×400(D)mm（突起物は含まず）
質　　量 ・・・・・・・・・・・・ 4.0kg 以下

3. 付 属 品

品　　名	規　　格	数量	備　　考
電源ケーブル	3 ピンコネクタ付き　長さ 2.0m	1 本	
ヒューズ	125V 1A	2 個	FGMB

4. 定格・性能

4.1 映像アナログ入力

4.1.1 入力信号形式	アナログコンポジット（NTSC）
4.1.2 入力レベル	1±0.2Vp-p
4.1.3 入力インピーダンス	75Ω
4.1.4 コネクタ	BNC 型
4.1.5 入力端子数	1

4.2 音声アナログ入力

4.2.1 入力信号形式	アナログ 2ch
4.2.2 入力レベル	最大 2.2dBμ、1.0Vrms
4.2.3 入力インピーダンス	Hiz（不平衡）
4.2.4 コネクタ	RCA
4.2.5 入力端子数	2

4.3 映像符号化

4.3.1 符号化方式	MPEG-2 Video（ISO/IEC13818-2 準拠）
4.3.2 プロファイル／レベル	MP@ML
4.3.3 映像フォーマット	480i　720×480
4.3.4 フレームレート	29.97fps（SMPTE125M）
4.3.5 符号化制御モード	CBR

4.4 音声符号化

4.4.1 音声符号化（AAC）	
4.4.1.1 符号化方式	MPEG-2 AAC LC-profile
4.4.1.2 符号化レート	128kbps/192kbps/256kbps/320kbps/384kbps
4.4.1.3 符号化チャンネル	2ch
4.4.2 音声符号化（MPEG1 Layer2）	
4.4.2.1 符号化方式	MPEG-1 AUDIO LAYER2
4.4.2.2 符号化レート	128kbps/256kbps/384kbps
4.4.2.3 符号化チャンネル	2ch

4.5 TS 出力

4.5.1 準拠規格	DVB-ASI　ISO/IEC60728-9（ASI）
4.5.2 メディア伝送速度	270Mbps±100ppm
4.5.3 信号伝送速度	2～15Mbps
4.5.4 信号構造	MPEG-2 トランスポートストリーム
4.5.5 信号形式	8B/10B 伝送コード
4.5.6 信号振幅	800mVp-p±10％
4.5.7 伝送フォーマット	バーストモード
4.5.8 パケット長	188 バイト
4.5.9 インピーダンス	75Ω
4.5.10 コネクタ	BNC 型
4.5.11 ポート数	2 ポート

4.6 監視、制御、警報インターフェイス

4.6.1 ネットワークインターフェイス	
4.6.1.1 インターフェイス	IEEE802.3/イーサネット準拠 10Base-T/100Base-TX
4.6.1.2 プロトコル	TCP/IP、UDP/IP
4.6.1.3 コネクタ	RJ45
4.6.1.4 ポート数	1 ポート
4.6.2 警報出力および音声制御情報入力	
4.6.2.1 ポート数	1 ポート
4.6.2.2 警報出力	無電圧接点出力（30VA）
4.6.2.3 音声制御情報入力	地気入力（モノラル／ステレオ／デュアルモノ）

4.7 電源電圧	AC100V±10％以内　50/60Hz
4.8 消費電力	30VA 以下
4.9 使用	連続
4.10 使用環境	温度　0℃～＋40℃（性能保証範囲） －10℃～＋50℃（動作保証範囲） 湿度　45％～90％RH（ただし結露しないこと）

4.11 制御入出力部

制御/入出力部		
制御入出力(LAN)	ポート数	1
	プロトコル	TCP/IP、UDP/IP
	インターフェース	IEEE 802.3/イーサネット準拠
		10/100 Base-T
	コネクタ	RJ45
アラーム出力	ポート数	1（制御入力と兼用）
	電気的インターフェース	無電圧接点出力、接点定格 30VA 以下
	コネクタ	D-sub9 ピン（メス）、M2.6 ネジタイプ
	警報出力	アラーム出力
制御入力	ポート数	1 ポート（アラーム出力と兼用）
	電気的インターフェース	地気入力
	コネクタ	D-sub9 ピン（メス）、M2.6 ネジタイプ
	入力	音声制御入力

4.11.1 コネクタピンアサイン

ALARM/CONT 端子(D-Sub9 ピン)

端子 No.	信号名称	リレー接点の動作	
		正常時	異常時(電源断含む)
1	ALARM	オープン	ショート（COM1）
2	ALARM（予備）	オープン	ショート（COM2）
3	制御 1（音声外部制御）		
4	制御 3（音声外部制御）		
5	制御用 GND		
6	COM1		
7	COM2		
8	制御 2（音声外部制御）		
9	N.C		

表 4-1 端子詳細

4.11.2 音声外部制御

制御１	制御２	制御３	音声モード	音声フォーマット
0	1	1	DUAL MONO	AAC 2ch
1	0	1	STEREO	AAC 2ch
0	0	1	MONO	AAC 2ch
X	X	0	STEREO	無効
1	1	1	WEB 設定	

表 4-2 音声外部制御

※　オープン時の端子は 1 になります。

4.12 符号化

4.12.1 映像符号化

項目	内容
符号化方式	MPEG-2 Video （ISO/IEC13818-2 準拠）
プロファイル／レベル	MP@ML
映像フォーマット	480i 720×480
フレームレート	29.97fps (SMPTE125M)
符号化制御モード	CBR

表 4-3

4.12.2 音声符号化(AAC)

項目	内容
符号化方式	MPEG-2 AAC LC-profile
符号化レート	128kbps/192kbps/256kbps/320kbps/384kbps
符号化チャンネル	2ch

表 4-4

4.12.3 音声符号化(MPEG1 Layer2)

項目	内容
符号化方式	MPEG-1 AUDIO LAYER2
符号化レート	128kbps/256kbps/384kbps
符号化チャンネル	2ch

表 4-5

5. 各部の名称

5.1 正面パネルの説明

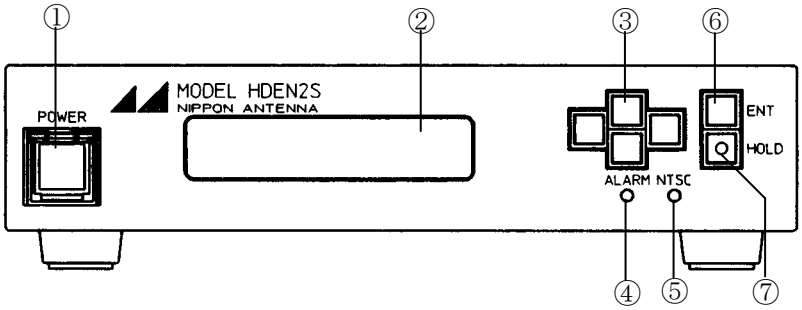


図 5-1

番号	項目	内容
①	POWER	本器の電源の ON/OFF による動作状態を表示します。 動作時は、スイッチが点灯します。
②	DISPLAY	機器の設定内容等を表示します。
③	CURSOR KEY	設定箇所選択及び、数値入力時に使用します。
④	ALARM	アラーム発生時に赤色に点灯します。
⑤	NTSC	アナログ入力設定時に緑色に点灯します。 本機器はアナログ入力のみですので常に点灯します。
⑥	ENT KEY	選択したデータを確定します。
⑦	HOLD KEY	前面パネルのキーをロック/解除をします。 ロック時は LED が緑色に点灯します。

表 5-1

注意　：　本機器は電源スイッチ OFF 時、すぐに電源は切れません。
ソフトウェアによりシャットダウンを行い自動的に電源が切れます。
シャットダウン中に AC ケーブルを抜くと設定データが消える場合が
ありますのでご注意ください。

5.2 背面パネルの説明

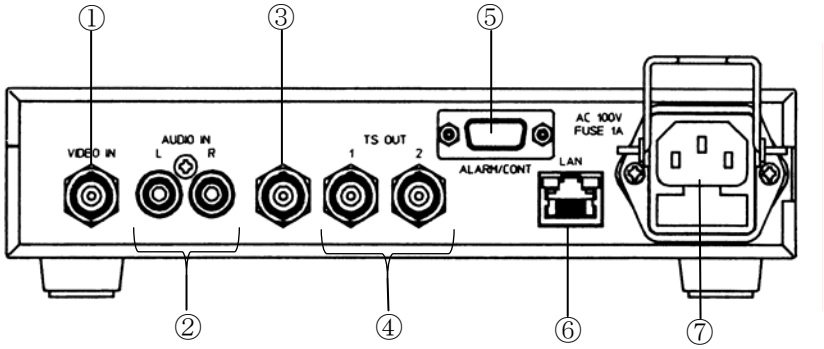


図 5-2

番号	項目	内容
①	VIDEO IN	アナログビデオ入力です。
②	AUDIO IN L,R	アナログ音声入力です。
③		使用しません。
④	TS OUT 1,2	TS 出力です。
⑤	ALARM/CONT	警報出力/制御入力コネクタです。
⑥	LAN	制御入出力です。LAN を経由して PC と接続します。
⑦	AC100V FUSE 1A	ヒューズホルダ付き AC100V 電源入力コネクタです。 ヒューズは 125V、1A を使用します。交換手順は 7.1 ヒューズ交換手順を参照して下さい。

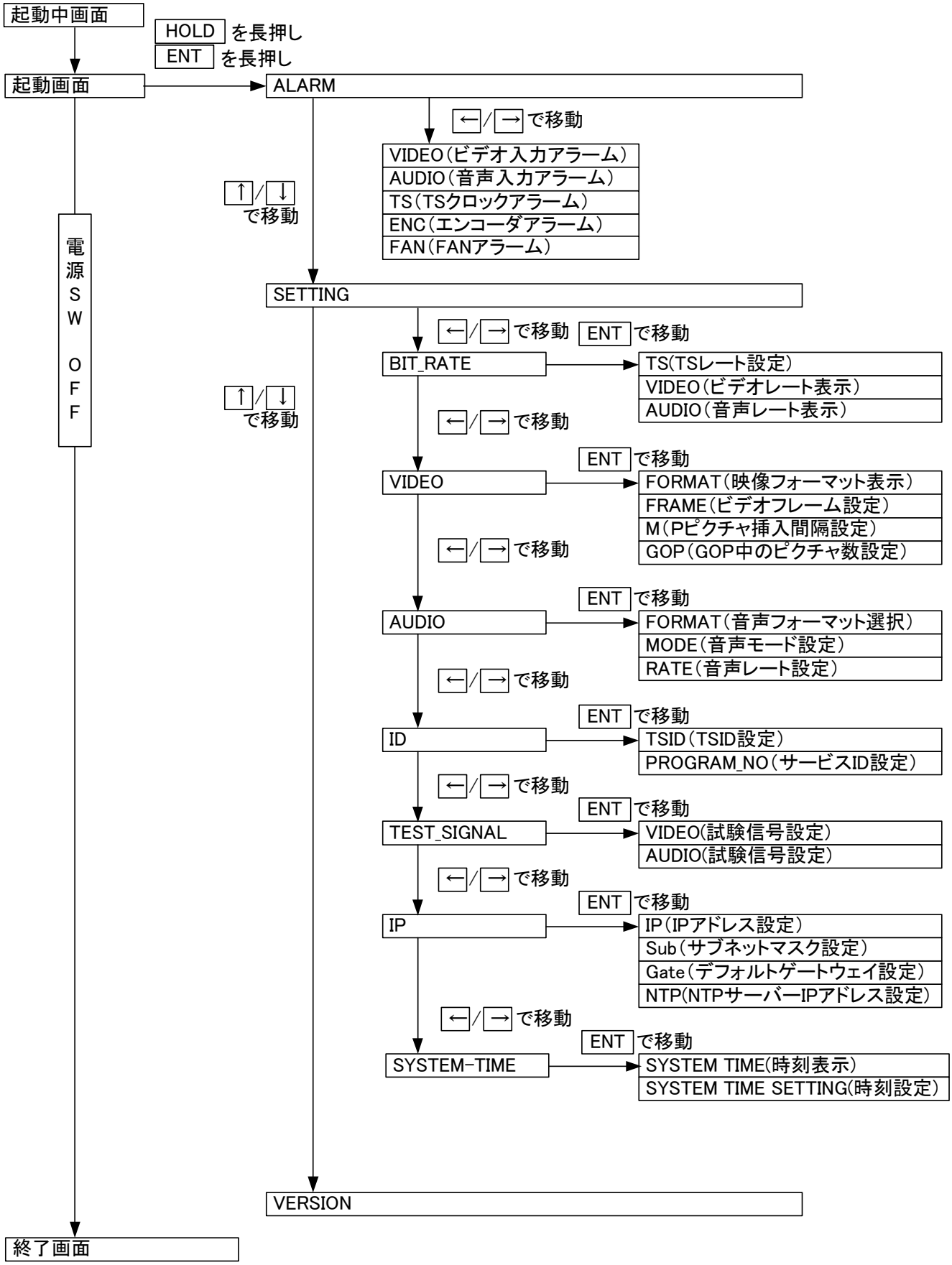
表 5-2

注意　：　アナログビデオ入力の同期信号が規格外の場合、正しくエンコード出来ない場合があります。
ＴＢＣ等を挿入し、入力信号を安定化させて下さい。

6. 操作方法

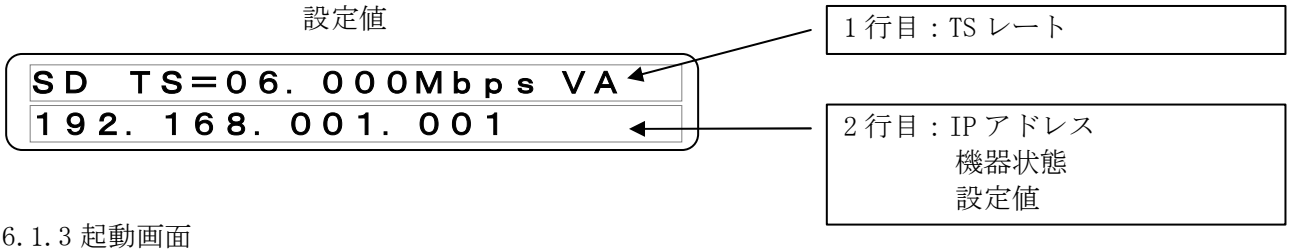
6.1 表示器説明

6.1.1 メニュー画面遷移



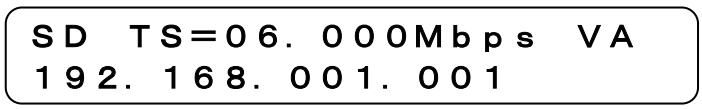
6.1.2 表示器基本

本機器フロントの表示器に表示する内容は
1行目 ： 機器名称またはモード
2行目 ： 本機器 IP アドレス
機器状態
設定値



6.1.3 起動画面

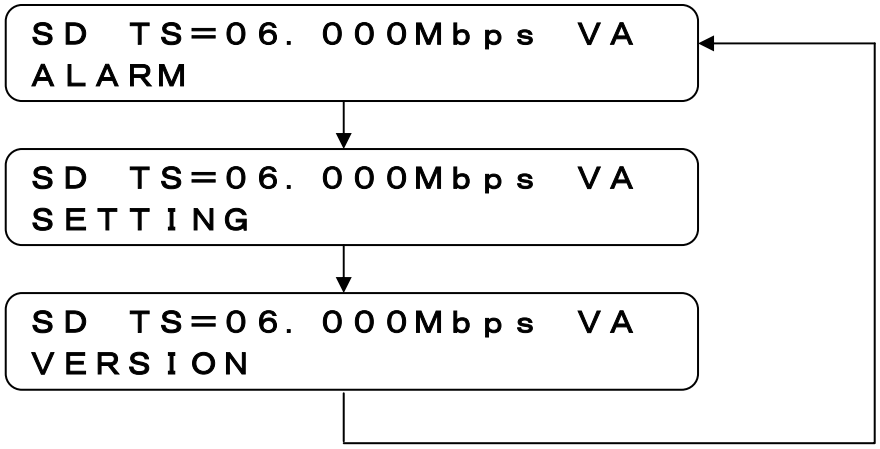
起動中に「Now Booting....」を表示します。



起動後本機器に設定されている IP アドレスが表示します。

6.1.4 メニュー画面

各メニューの選択を行います。
HOLD キーを押し、HOLD を解除して ENT キーを 3 秒間押します。
このとき HOLD キーの LED は消灯します。↑/↓を押すことで各モードを選択します。



6.1.4.1 アラーム画面

現在発生しているアラーム状態を表示します。

メニュー画面から「ALARM」を選択し、←／→キーで各項目のアラーム状態を○×で表示します。

アラームが発生しているときは、項目の最後にアラームの詳細内容が表示されます。詳細項目が複数ある場合は、↑／↓キーで表示させます。

（アラームの種類によっては、詳細内容が表示されない場合があります。）

アラーム項目

表示	説明	○	×
VIDEO	映像入力状態を示します。	映像入力正常	映像入力異常
AUDIO	音声入力状態を示します。	音声入力正常	音声入力異常
TS	TS クロックの状態を示します。	TS クロック正常	TS クロック異常
ENC	エンコードボードの状態を示します。	エンコード正常	エンコード失敗
FAN	FAN の状態を示します。	FAN 正常	FAN 異常

表 6-1 アラーム状態表示

6.1.4.2 SETTING 画面

エンコーダの各種設定及び、機器の IP アドレスの設定を行います。

メニュー画面から「SETTING」を選択し、←/→キーで各設定項目を表示します。

設定項目		内容
SELECT_SIGNAL		入力信号源（NTSC）の選択を行います
BIT_RATE	TS	TS のビットレートを設定します
	VIDEO※	VIDEO のビットレートを表示します
	AUDIO※	AUDIO のビットレートを表示します
VIDEO	FORMAT※	VIDEO フォーマットを表示します
	FRAME	VIDEO フレーム(ACCUM/NoACCUM)を設定します
	M	P ピクチャの挿入間隔(IP/IBP/IBBP)を設定します
	GOP	1GOP 中のピクチャ数を設定します
AUDIO	FORMAT	AUDIO フォーマット(AAC2ch/MPEG1L2)を設定します
	MODE	音声モード(STEREO/MONO/DUALMONO)を設定します
	RATE	音声のビットレートを設定します
ID	TS_ID	TSID を設定します
	PROGRAM_ID	プログラム ID を設定します
	PMT	PMT の PID 値を設定します
	PCR	PCR の PID 値を設定します
	VIDEO	VIDEO の PID 値を設定します
	AUDIO	AUDIO の PID 値を設定します
TEST_SIGNAL	VIDEO	映像テスト信号の設定(無効/カラーバー/スクロール)を行います
	AUDIO	音声テスト信号の設定（無効/-20dBFs/-18dBFs）を行います
IP	IP	機器の IP アドレスを設定します
	SUB	サブネットマスクを設定します
	Gate	デフォルトゲートウェイを設定します
	NTP	NTP サーバの IP アドレスを設定します
SYSTEM TIME	SYSTEM TIME	システム時刻を表示します。 時刻校正を行っていない場合は手動で変更できます。

表 6-2

6.1.4.3 VERSION 画面

装置のファームウェアのバージョン情報を表示します。

メニュー画面から「VERSION」を選択するとファームウェアバージョンを表示します。

6.2 WEB 説明

6.2.1 動作条件

検証済み Browser　：　Internet Explorer6.0

：　Internet Explorer7.0

：　Internet Explorer8.0※

※　アドレスバーの更新ボタンの隣にある「互換表示」ボタンを有効にしてご使用下さい。

6.2.2 機器接続

本機器のパラメータはイーサーネットワーク経由で WEB により設定/監視を行います。本機器の設定項目としては、サービス設定、出力チャンネル設定、アラーム表示、バージョン表示を行うことが出来ます。

HUB での接続例

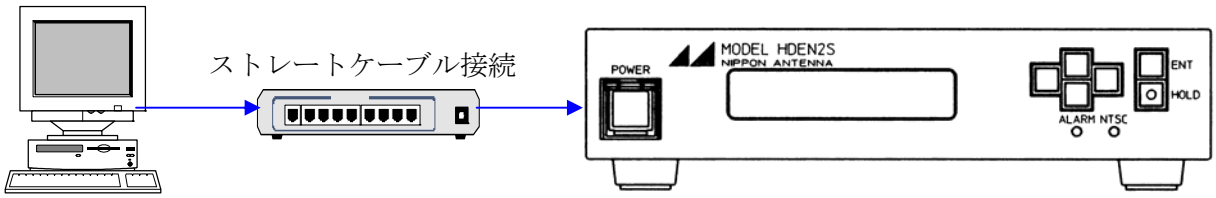


図 6-1 ストレートケーブル接続

直接接続の例

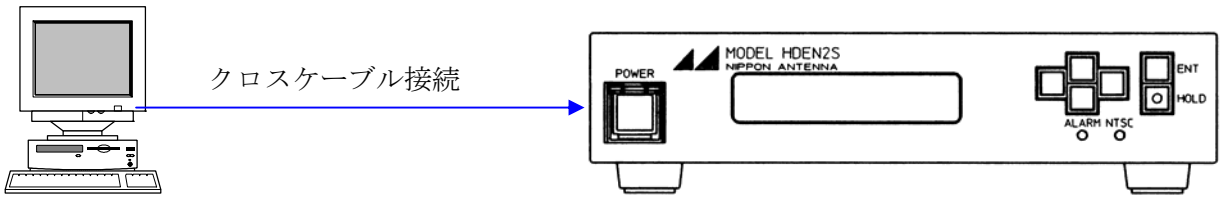


図 6-2 直接接続の例

6.2.3 接続

Internet Explorer を起動し、アドレス欄に IP アドレスを入力して「Enter」で決定します。
本機器の IP アドレス初期値は「192.168.1.1」になっています。
ブラウザが Internet Explorer 8.0 の場合は、接続後に「互換表示」ボタンを有効にして下さい。

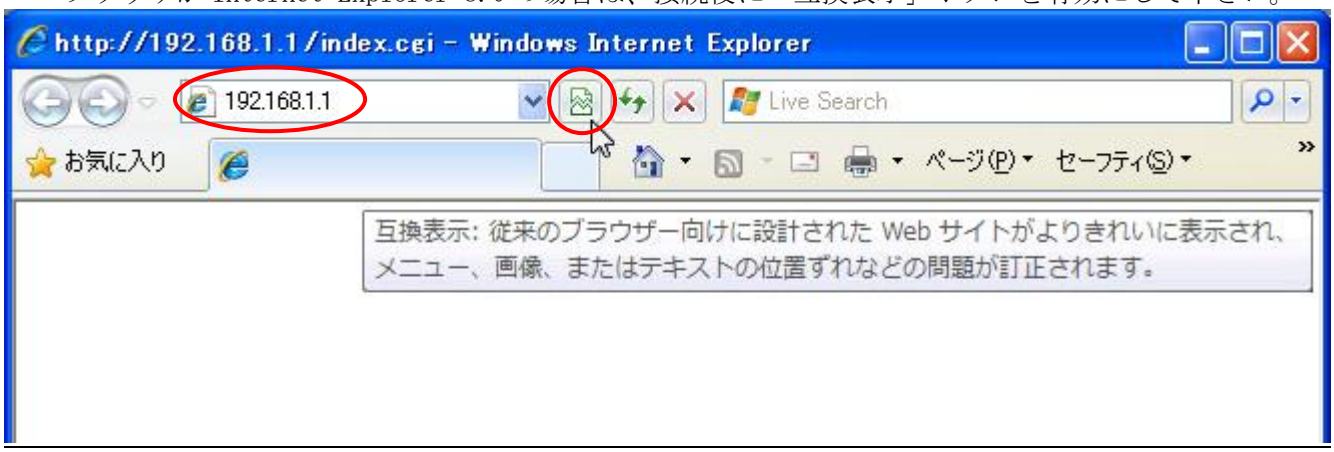


図 6-3

機器の設定/監視画面が表示します。
WEB 画面は情報画面、設定画面、状態表示画面の 3 画面構成になっています。

図 6-4

6.2.4 ログイン

本機器へのアクセスする場合、ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名　：admin

パスワード　：admin

図 6-5

6.2.5 情報表示

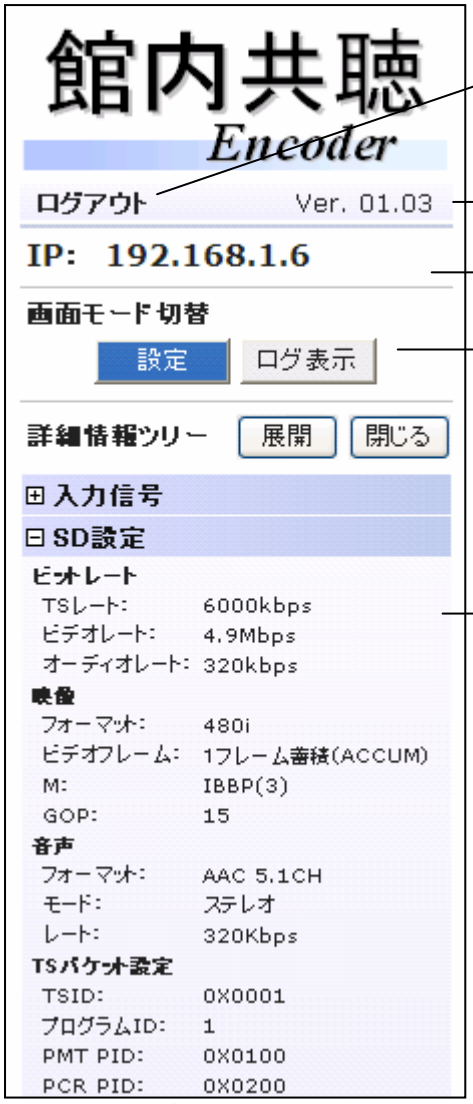


図 6-6

ログアウトします。

機器のソフトウェアバージョンを表示します。

機器の IP アドレスを表示します。

クリックして設定画面を切り替えます。

項目	画面内容
設定	設定画面を表示します。
ログ表示	ログ情報を表示します。

表 6-3

設定内容の詳細情報をツリー状に表示します。
表示内容は、9.1 設定/参照表示一覧を参照下さい。

6.2.6 設定

本機器への各種設定を行います。

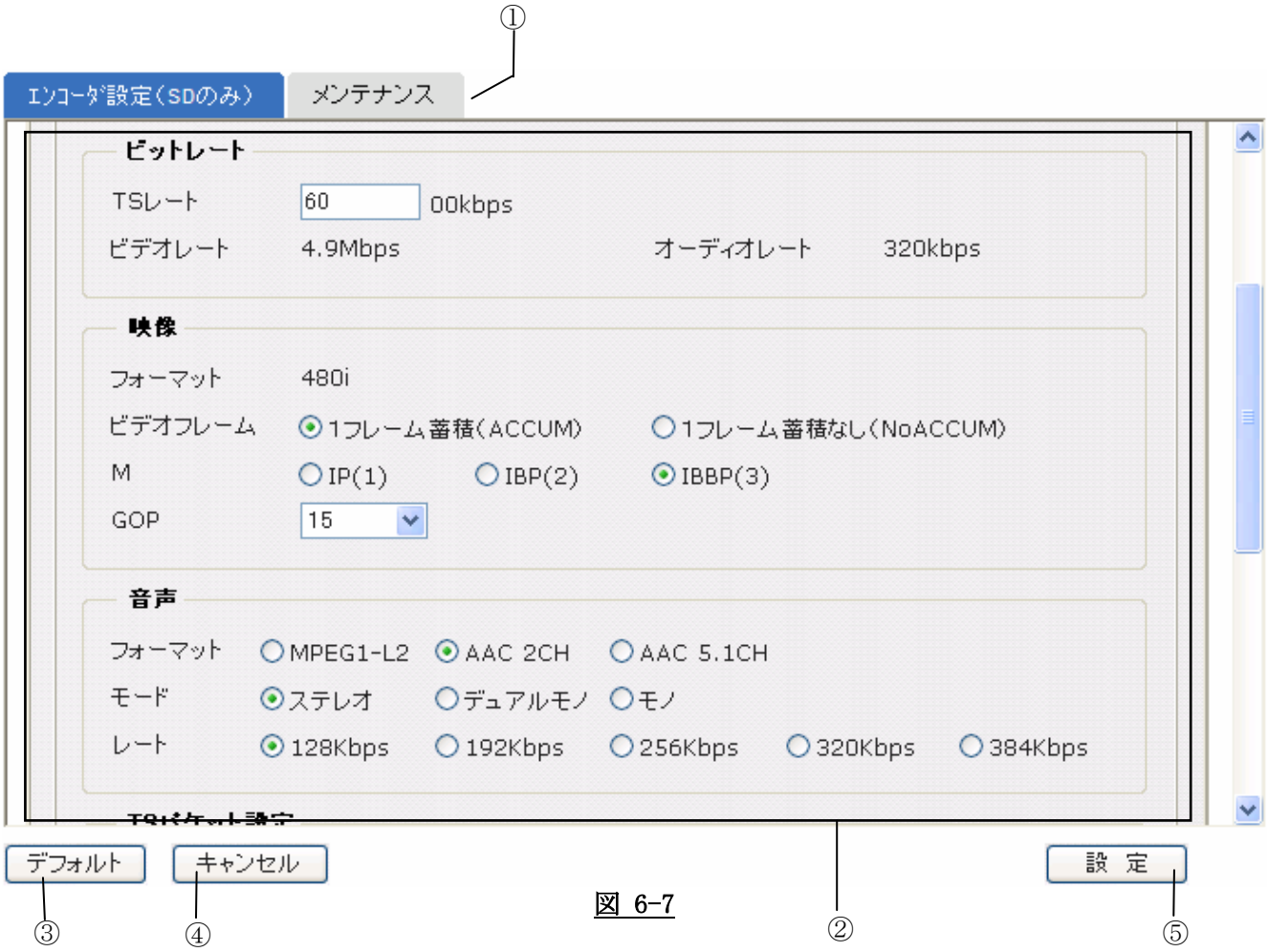


図 6-7

番号	項目	内容
①	設定画面タブ	設定する内容に応じて各設定画面を選択します。 エンコーダ設定　：エンコーダの各設定を行います。 メンテナンス　　：保守用です。
②	設定画面	選択された設定画面を表示します。
③	デフォルト	選択している画面の設定情報をデフォルト値（工場出荷設定）に戻します
④	キャンセル	編集中の内容をキャンセルし、現在設定されている元の値に戻します。
⑤	設定	編集した画面の設定内容を機器へ反映させます。

表 6-4

6.2.6.1 ビットレート設定

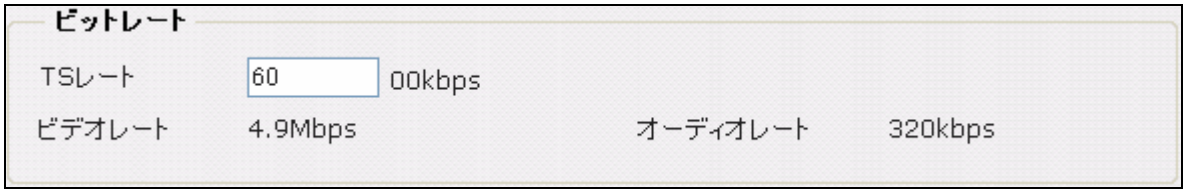


図 6-8

項目	内容
TS レート	エンコーダから出力される TS のビットレートを設定します。
ビデオレート	TS レートで設定された値から算出されたビデオビットレートを表示します。
オーディオレート	音声設定で設定されたオーディオビットレートを表示します。

表 6-5

6.2.6.2 映像設定

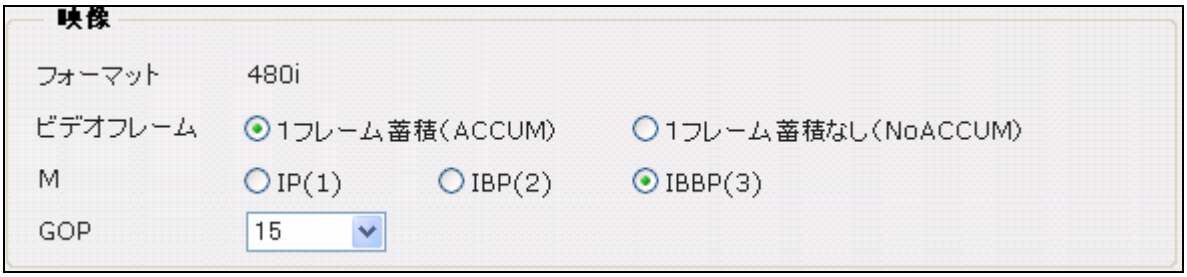


図 6-9

項目	内容
フォーマット	ビデオフォーマットを表示します。
ビデオフレーム	フレーム蓄積あり／なしを選択します。
M	Ｐピクチャ挿入間隔を選択します。
GOP	1 フレームあたりのピクチャ数を設定します。

表 6-6

6.2.6.3 音声設定

図 6-10

項目	内容
フォーマット	音声フォーマットを設定します。 AAC 5.1ch は設定できません。
モード	音声モードを設定します。 音声モードは外部入力による操作が優先されます。 外部入力による音声モード切替については、4.10.2 音声外部制御を参照下さい。
レート	音声のビットレートを設定します。

表 6-7

6.2.6.4 TS パケット設定

出力 TS の各パラメータを設定します。

図 6-11

6.2.6.5 試験信号設定

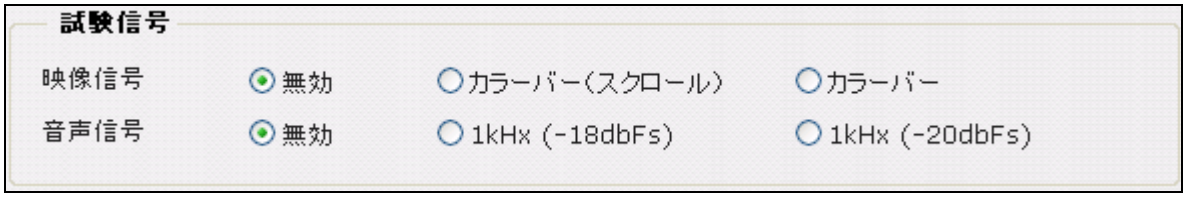


図 6-12

項目	内容
映像試験信号	試験信号の設定が出来ます。 入力信号をエンコードする場合は無効に設定します。
音声試験信号	試験信号の設定が出来ます。 入力信号をエンコードする場合は無効に設定します。

表 6-8

6.2.7 メンテナンス

6.2.7.1 メンテナンスの認証

メンテナンス画面を選択する場合はパスワードを求められます。

Internet Explorer7.0/8.0 の場合

(1) メンテナンスタブを選択すると「認証できませんでした」というダイヤログが表示されますので、OK をクリックします。

図 6-13

(2) 「スクリプト化されたウィンドウの実行を一時的に許可(T)」をクリックします。

図 6-14

(3) 再度メンテナンスタブを選択するとパスワード入力画面が表示されます。

(4) パスワードの初期値「admin」を入力し「OK」をクリックするとメンテナンス画面が表示されます。

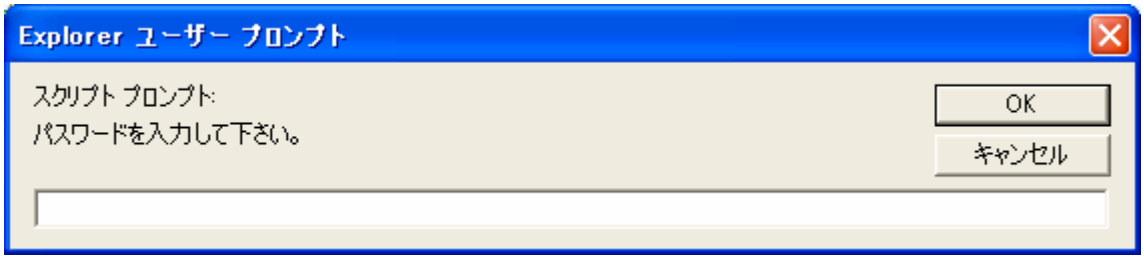


図 6-15

6.2.7.2 ソフトウェアバージョンアップ

ソフトウェアのバージョンアップを行います。

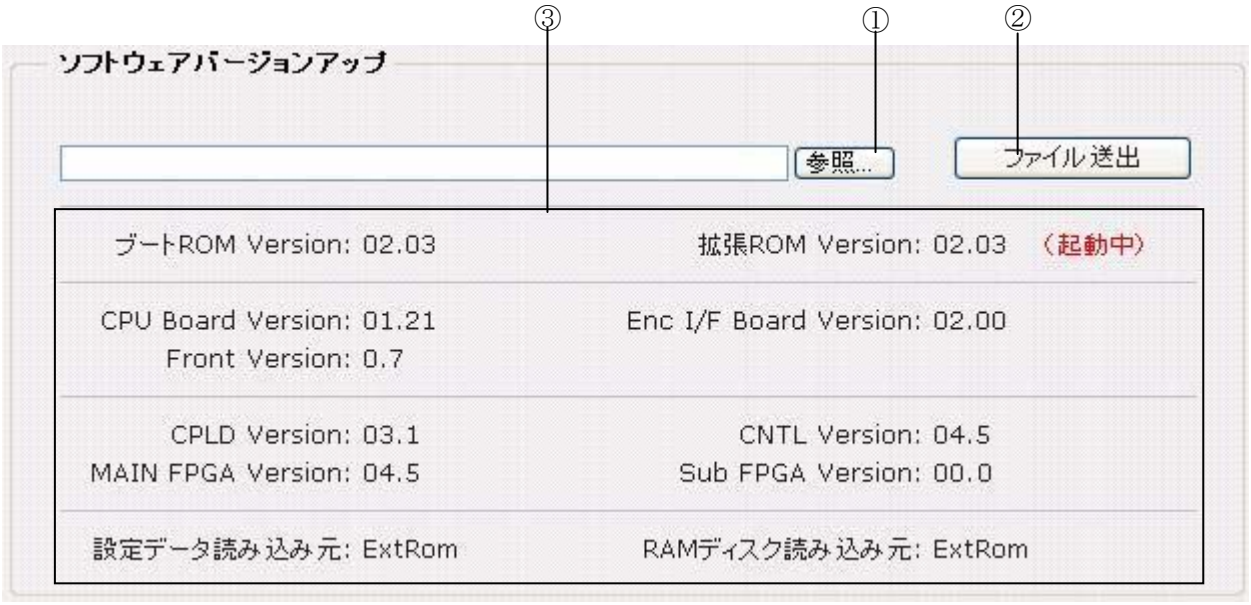


図 6-16

番号	項目	内容
①	参照	ソフトウェアのアプリケーションファイルを指定します。
②	ファイル送出	選択したファイルを機器へ送出します。
③	バージョン表示	ソフトウェアや FPGA のバージョンを表示します。 また、データの読み込み元を表示します。

表 6-9

【バージョンアップ手順】

(1) ソフトウェアのアプリケーションファイルを指定します。
(2) 「ファイル送出」をクリックし、機器へ送出します。
(3) アップロード終了後、機器を再起動します。
(4) 拡張 ROM のバージョンが更新されていることを確認します。

項目	内容
ブート ROM	ブート ROM のソフトウェアバージョンを表示します。
拡張 ROM	拡張 ROM のソフトウェアバージョンを表示します。 通常は拡張 ROM のソフトウェアから起動します。 ソフトウェアバージョンアップで書き換えが行われるのは拡張 ROM のみです。
CPU Board	CPU 部の FPGA バージョンを表示します。
ENC I/F Board	TS 処理部の FPGA バージョンを表示します。
FRONT	フロント部の FPGA バージョンを表示します。
CPLD	エンコーダ部の PLD バージョンを表示します。
CNTL	エンコーダ部のファームウェアバージョンを表示します。
MAIN FPGA	エンコーダ部の FPGA バージョンを表示します。
設定データ読み込み元	設定データの読み込み元を表示します。
RAM ディスク読み込み元	RAM ディスクデータの読み込み元を表示します。

表 6-10 バージョン表示詳細

6.2.7.3 機器メンテナンス

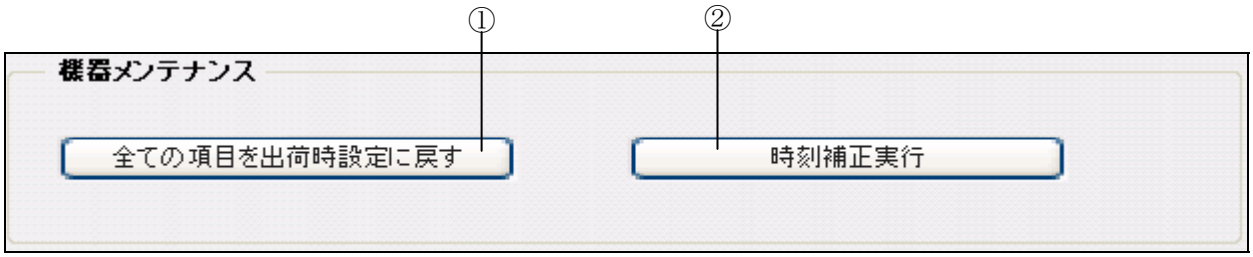


図 6-17

番号	項目	内容
①	すべての項目を出荷時設定に戻す	工場出荷時設定に戻します。
②	時刻補正実行	機器内部の時刻校正を行います。 手動で時刻設定を行った後、タイムサーバからの時刻設定に切り替える場合も使用します。

表 6-11

6.2.7.4 設定ファイル

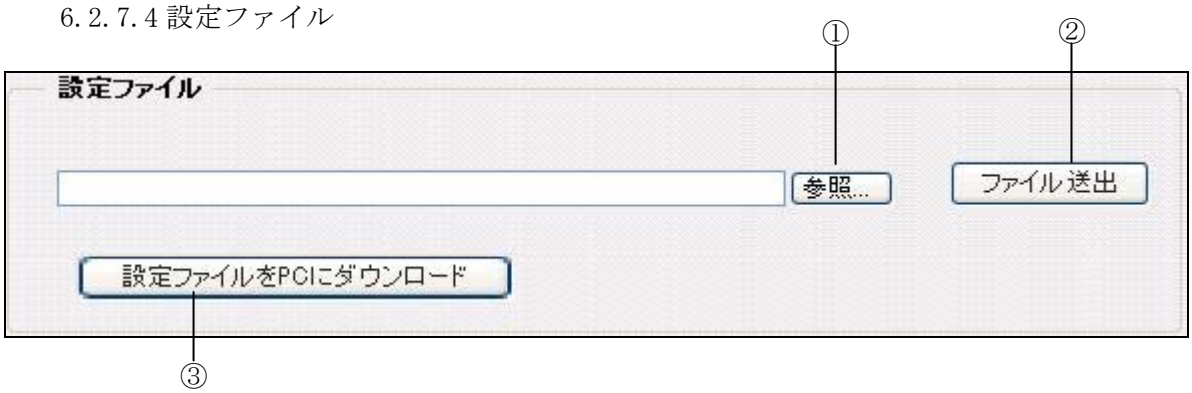


図 6-18

番号	項目	内容
①	参照	設定ファイルを指定します。
②	ファイル送出	①で選択したファイルを機器へ送出します。
③	設定ファイルを PC にダウンロード	機器の設定ファイルをダウンロードします。

表 6-12

項目	内容
NIT_INSERT=0	NIT を送出する／送出しないを選択します。
MACRO_VISION=0	MACRO_VISION=1：入力信号にマクロビジョンがある場合にエンコードを停止します。
EXT_DELAY=0	保守用のパラメータですので変更しないで下さい。
MPEG_TYPE=4	保守用のパラメータですので変更しないで下さい。
VIDEO_STREAM_TYPE=224	保守用のパラメータですので変更しないで下さい。
AUDIO_STREAM_TYPE=192	保守用のパラメータですので変更しないで下さい。
OFF_SIG=0	保守用のパラメータですので変更しないで下さい。
NIT_INTERVAL=77	保守用のパラメータですので変更しないで下さい。
LAST_FRAME_TYPE=130	保守用のパラメータですので変更しないで下さい。
WEB_USER=admin	WEB 画面のユーザー名を指定します。
WEB_PASSWORD=admin	WEB 画面のパスワードを指定します。
TELNET_USER=admin	TELNET のユーザー名を指定します。
TELNET_PASSWORD=admin	TELNET のパスワードを指定します。
FTP_USER=admin	FTP のユーザー名を指定します。
FTP_PASSWORD=admin	FTP のパスワードを指定します。
NTP_CYCLE=3600	時刻校正のサイクルを秒単位で指定します。

表 6-13 設定ファイル内容

6.2.7.5 設定データ

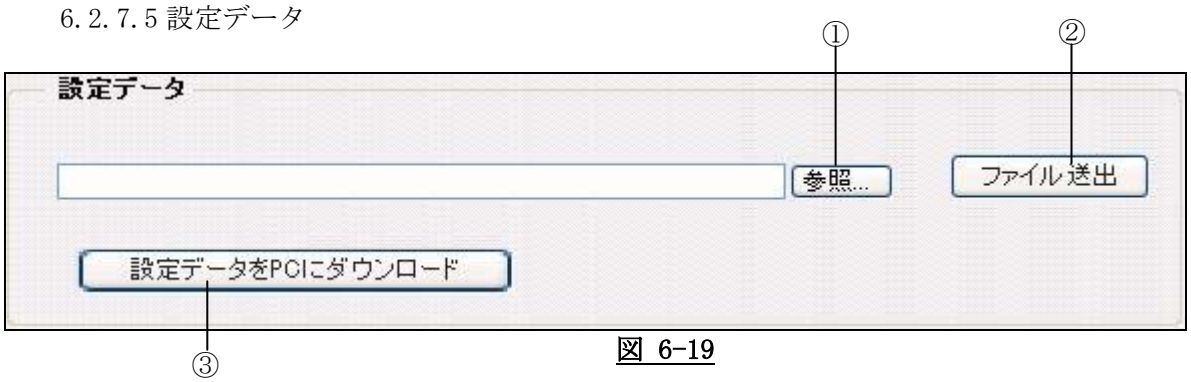


図 6-19

番号	項目	内容
①	参照	設定データファイルを指定します。
②	ファイル送出	①で選択したファイルを機器へ送出します。
③	設定データを PC にダウンロード	機器の設定データをダウンロードします。

表 6-14

6.2.8 ステータス

本機器の内部の状態を表示します。

図 6-20

番号	項目	内容
①	ステータス表示	各部の状態を表示します。 最後に取得した情報を保持します。
②	更新	現在のステータス情報を取得し、画面を更新します。
③	画面自動更新	１秒／５秒／１０秒毎に自動でステータス情報を取得し、画面を更新します。
④	（＊）	WEB を開いたとき、過去に機器にステータス異常があった場合に（＊）が表示されます。 （＊）をクリックすると一覧画面が表示されます。 （＊）は、一覧画面で消すことが出来ます。

表 6-15

項目	表示項目	内容
エンコーダ	ENC UNIT	エンコードユニット部に異常があります。
	VIDEO INPUT	ビデオ入力信号に異常があります。
	AUDIO INPUT	音声入力信号に異常があります。
	TS CLK	TS クロックに異常があります。
入力信号	ソース	入力信号設定（デジタル／アナログ）を表示します。
	SD/HD	入力信号の SD/HD を表示します。アナログの場合は SD です。
	マクロビジョン信号	入力信号に含まれるマクロビジョン信号の有無を表示します。
	ビデオレート	出力されるビデオビットレートを表示します。
本体	FAN	FAN に異常があります。
設定書込み	FROM	フラッシュ ROM への書込みに失敗しました。

表 6-16　ステータス状態

6.2.9 ログ表示

本機器の処理内容のログとステータスログを表示します。
ログ保存は 500 行です。

6.2.10 ログ（コントローラ）

機器が行っている処理状態を表示します。

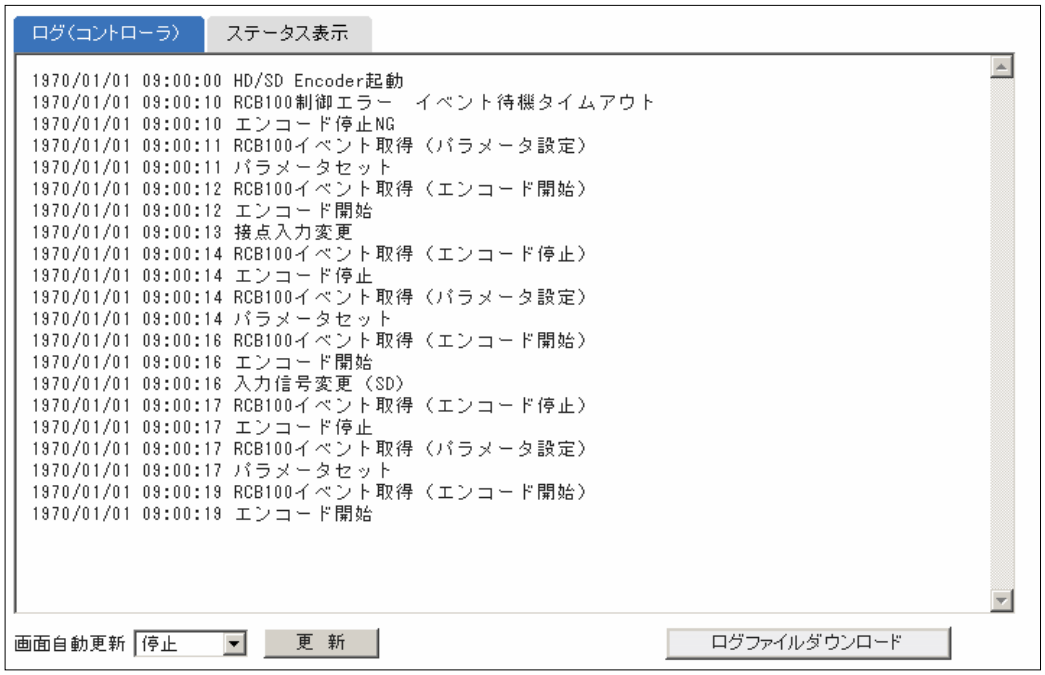


図 6-21

6.2.11 ステータス表示

機器のスタース情報を表示します。

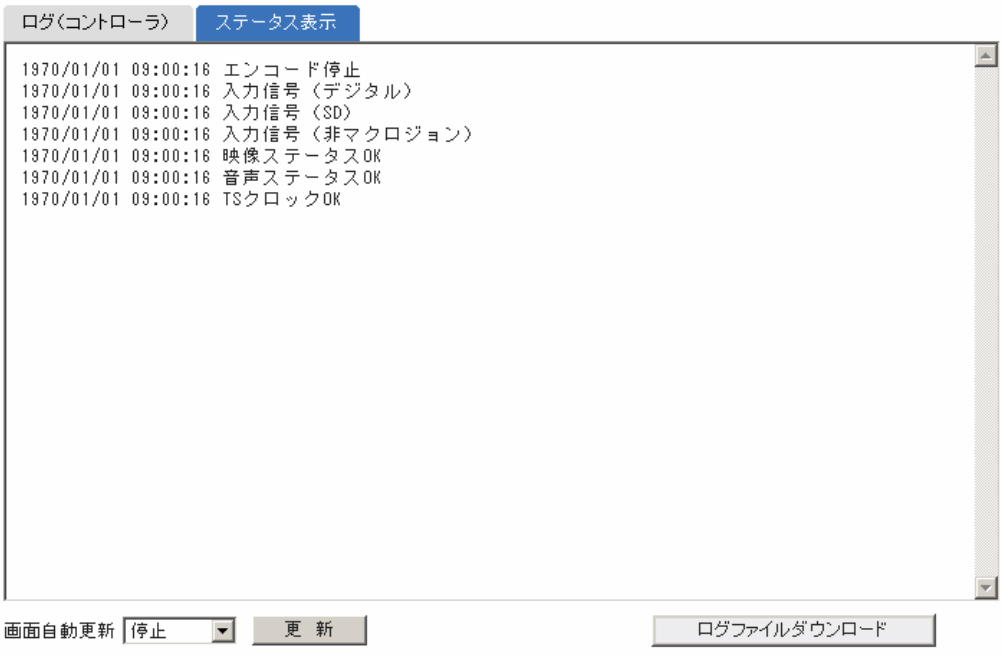


図 6-22

6.3 LED 表示説明

①「POWER」

電源の状態を表示します。通電時は緑色に点灯します。

②「HOLD KEY」

前面パネルにおけるキーのホールド状態を表示します。

LED 表示状態	状態
緑色点灯	キーロック
消灯	解除

表 6-17

③「ALARM」

アラームの有無を表示します。

LED 表示状態	状態
消灯	正常稼動
赤色点灯	アラーム発生有り

表 6-18

④「NTSC」

入力をアナログにした場合に表示します。

LED 表示状態	状態
緑色点灯	アナログ入力設定時
消灯	デジタル入力設定時

表 6-19

7. 保守部品交換手順

7.1 ヒューズ交換手順

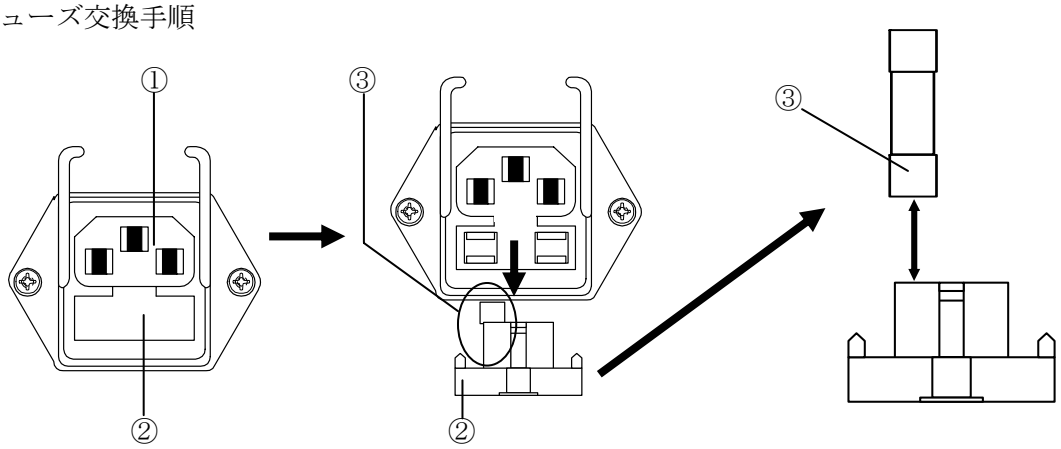


図 7-1

(1)　電源プラグ①から電源ケーブルを外します。
(2)　電源プラグ①側からマイナスドライバー等でヒューズホルダー②を引き出します。
(3)　ヒューズ③をヒューズホルダーから取り外し、新しいヒューズをはめ込みます。
(4)　ヒューズホルダー②を元の位置に挿し込み、作業終了です。

8. 使用上の注意

(1)　本器の開口部や放熱器は、通風及び放熱のために設けております。開口部を塞いだり覆ったりしないようご注意ください。
(2)　本器に使用しております FAN モータには、稼動部を含むため寿命がございます。7 年毎までに交換してください。
(3)　電源 OFF する場合、ソフトウェア制御で電源 OFF を行っています。
(4)　機器の電源が完全に OFF になってから AC ケーブルを外してください。

9. 付録

9.1 設定/参照表示一覧

設定内容	
映像設定	TS ビットレート
	ビデオフレーム
	M
	GOP
音声設定	音声フォーマット
	音声モード
	音声レート
TS 設定	TS ID
	プログラム ID
	PMT PID
	PCR PID
	VIDEO ES PID
	AUDIO ES PID
試験信号設定	映像信号
	音声信号

表 9-1